

清川泰次

線と立体表現



上:《Painting No.2182-3》1982-83年
下:《Stainless Object C-3 No.3891》1991年
撮影:上野剛宏

2021年4月1日 | 木 | — 9月26日 | 日 |

開館時間 | 10:00~18:00(最終入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、5月3日(月・祝)、8月9日(月・振替休日)、9月20日(月・祝)は開館、5月6日(木)、8月10日(火)、9月21日(火)は休館

観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

* 障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書を
ご提示のうえ、お申し出ください。 * ()内は20名以上の団体料金 * 小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城 2-22-17 TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分



《気ままな朱》1959年



《Painting No.381-B》1981年



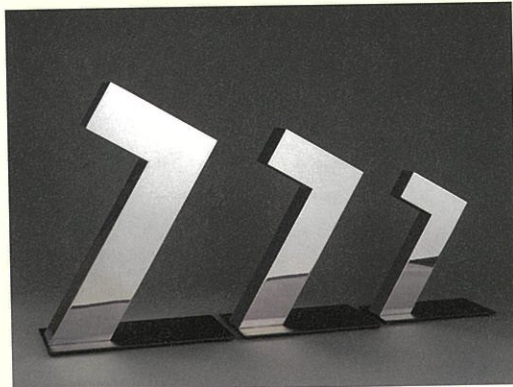
《Painting No.3799》1999年



《Painting No.1793》1993年



《Stainless Object No.4291》1989年
撮影：上野則宏



《Stainless Object 7-3 No.4191》1991年
撮影：上野則宏

長らく成城の地に暮らした世田谷ゆかりの画家・清川泰次(1919-2000)。初期には具象的な作品を描いていましたが、1950年代に本格的に抽象表現へ移行し、線や色面のみによる表現で、物の形態を写し取ることに捉われない独自の抽象芸術を探索しました。

清川の描く線は、1950年代、60年代の複雑に交錯する線から、80年代の白いキャンバスに細く引かれた淡い線、90年代の幾何学的な形とともに画面を構成する線へと、画業を通じて大きく変化していきます。さらに、1980年代以降は鏡面仕上げのステンレスによる立体作品を手掛け、これらの作品にも絵画と通ずる線的な表現が用いられました。

本展では、清川の作品における「線」に着目し、絵画作品と立体作品を併せて展示します。晩年まで旺盛な制作意欲をみせた清川が描く線の変遷と、立体表現への展開をご覧ください。

線と立体表現

世田谷美術館分館 清川泰次 記念ギャラリー

清川泰次記念ギャラリーは、成城の閑静な住宅街にあります。芝生が広がり、草花が咲く明るい庭と温かみのあるモダンな建築は、清川泰次のアトリエ兼住居を一部改装したもので、2003年に世田谷美術館の分館として開館しました。当館では清川泰次の作品を紹介するとともに、区民ギャラリーを併設し、区民の方々の創作活動を発表する場として、週単位でご利用いただいています。(展示予定はホームページをご覧ください)



© 宮本和義

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>
[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分



世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
<http://www.mukaijunktichi-annex.jp/>



© 宮本和義

生誕120年 向井潤吉の歩みと作品—デザインの仕事を加えて
2021年4月1日(木)~9月26日(日)

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



© 宮本和義

宮本三郎、画家として I はじまりから 戦争を経て 1920s~1950s
2021年4月1日(木)~9月26日(日)

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL.03-3415-6011 (代表)

[展覧会のご案内]
TEL.050-5541-8600 (ハローダイヤル)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

*詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催展

企画展

アイノとアルヴァー 二人のアルト
フィンランド—建築・デザインの神話
塔本シスコ展 シスコ・パラダイス

ミュージアムコレクション

驚異の三人!! 高松次郎・若林奮・李禹煥—版という場所で
グローバル化時代の現代美術
—“セタビ”のコレクションで楽しむ世界旅行
それぞれのふたり 大沢昌助と建昌覚造

3月20日(土・祝)~6月20日(日)

9月4日(土)~11月7日(日)

4月17日(土)~6月13日(日)

7月3日(土)~8月22日(日)

9月11日(土)~11月21日(日)

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び抑制のため、ご入館に際し、マスクの着用、検温、連絡カードの記入のご協力をお願いしております。混雑時は入場制限をさせていただく場合がございます。
※展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合もございます。最新情報は、当館ホームページなどでお知らせします。